



師団長から優勝看板等を受賞した部隊及び隊員

実撃射撃競技会（重迫砲・小火器）を本競技として、師団は1月28日から31日まで射撃練度を向上させるとともに団結の強化及び士気の高揚を図ることを目的とした。北・東富士演習場において、第1師団は1月28日から31日まで射撃練度を向上させるとともに団結の強化及び士気の高揚を図ることを目的とした。



### 陣地進入する重迫撃砲中隊（1普連）

会は靈峰富士の下、T120mm拳銃の3部門に分かれ実施され、各部隊は誇りと名譽をかけ熱戦を繰り広げた。競技に当たり統裁官（師団長）は「全ての努力を」と「先に集約せよ」、「平常心で



小火器射撃（隊の部）を制した司令部付隊

# 小火器応用射撃個人の部

第3位

準優勝

優勝



第1後方支援連隊



第32普通科連隊



増野 1 尉

甲斐 3 曹 渡辺 3 曹

# 平成最後の競技会

## 頭号師団



発行元  
第1師団司令部  
総務課広報班

第1師団  
Facebook



項望要長團師  
戰作事萬  
賴信信感謝  
攜連域地

▼小火器射撃会は東富士演習場及び縮尺射場において各火器に分かれ実施された。結果は5年ぶりに普連が優勝となり、普連が準優勝となつた。

各連隊3部隊に85人の抗戦で実施された。普通科連隊(15人)の部隊対抗で実施された他の連隊は、9月28日から30日の間で実施された。個人が実施されたのは階級別に個人射撃競技会で、各人はプライドと名誉をかけ懲りて戦を繰り広げた。結果は以下のとおりとなつた。

【重迫撃砲射撃の部】	優勝 第1普通科連隊
【小火器射撃部隊対抗の部】	普通科連隊の部
大隊等の部	優勝 第32普通科連隊
優勝 第1施設大隊	優勝 大隊の部
優勝 第32普通科連隊	優勝 第32普通科連隊
司令部付隊	優勝 小火器心用射撃個人の部
第32普通科連隊	優勝 第32普通科連隊
渡辺龍介	3曹
甲斐崇児	3曹
第32普通科連隊	準優勝 準優勝
第1後方支援連隊	第1後方支援連隊
増野茂	三位
1尉	第三位





実射競技会



炊事競技会

競技の結果は、実射の部は第3中隊、炊事・通信の部は第2中隊が優勝を収めた。

動作を実施し、精度を競い合った。

通信競技会は14日、班長の指揮で迅速確実な

## 隊員の能力 最大限に發揮 第1特科隊

V

第1特科隊は3月8日、13日及び14日、北富士演習場（実射競技会及び駐屯地グランド（炊事・通信競技会）において、平成30年度戦技競技会を実施した。

実射競技会は8日、これまで培つた練成の成果を最大限に發揮し、各中隊は最後まで集中力を切らすことなく射撃に臨んだ。

炊事競技会は13日、制限時間内に指定された食材を、心を込めて調理し、招待した防衛モニター、家族会の方々、OB会長、協力会長、隊長（林1佐）及び駐屯地業務隊栄養長（林1佐）が取材し、参加隊員に意気込み等をインタビューした。



## 第1戦車大隊

# V 第1中隊 優勝 機甲科魂！熱き戦い！

第1戦車大隊は3月7日東富士演習場において、平成30年度戦車射撃競技会を実施した。

本競技会は大隊の戦車射撃練度、小隊長の射撃指揮及び小隊内の協同連携要領向上させるとともに、各中隊の士気の高揚及び団結の強化を図る目的で実施されることとともに、関係部外機関及び隊員家族に公開し、自衛隊に対する理解の促進を図った。

第1中隊の10式戦車2小隊と第2中隊の74式戦車2個小隊の戦闘射撃により競われ、第1中隊が優勝を収めた。



射撃を実施する第2中隊 74式戦車

## 行進能力の向上を図る 第1高射特科大隊

### 平成30年度隊区進出訓練



小田原市内を行進する隊員

第1高射特科大隊は3月11日から3月12日の間、神奈川県県西分区において、平成30年度隊区進出訓練を実施した。

本訓練は災害時等に各中隊が担任する、神奈川県の2市8町へ徒步行進により進出し、各地区の活動拠点、活動地域及び道路状況の偵察を行い、災害対処能力の向上を図るとともに、隊区自治体及び自衛隊協力会等との関係強化を図ることを目的として行われた。



B-GANの操作要領を展示・説明する吉尾2曹



通信構成訓練を説明する牛之濱曹長

## 構成能力の向上を図る 第1通信大隊

### 第4回師団通信訓練

第一通信大隊は2月12日から22日の間、朝霞駐屯地及び荒川において、上級・初級施設特技練成及び検定を実施した。初級施設17人、上級施設19人に対し、分隊長及び施設手として必要な知識及び技能を習得させ、所望の成果を得た。

訓練馬駐屯地において第4回師団通信

訓練を担任・実施した。

本訓練には通信大隊の他、師団各部隊の通信小隊等も参加し、野外通信システムを主体とした師団システム通信組織の構成訓練、衛星幹線システム携帯局（B-GAN）の構成訓練及び広帯域多目的無線機を使用した通信構成訓練を実施した。

本訓練間、通信大隊の隊員が師団各部隊の通信小隊等の隊員に対し、通信器材の操作要領、通信構成要領等を展示・説明し、通信構



リペリング訓練を実施

隊は2月25日、立川飛行場及び朝霞訓練場において

第1飛行隊は2月25日、立川飛行場及び朝霞訓練場においてリペリング訓練を実施した。

本訓練は東部方面隊区内に所在する航空部隊合同の機能別訓練を実施し、航空部隊相互の連携を図る目的で実施した。

訓練には1普連か

## 第1飛行隊

## 航空部隊相互の連携能力を向上



87式偵察警戒車による射撃



射撃終了にともない富士山をバックに集合写真

CHIによる搭載卸下訓練を実施

CHIによる搭載卸下訓練を実施

らも参加し、リペリングのアンカー構成や、エンジン停止の状態での搭載卸下訓練を実施する他、UHによるホバリングからのリペリング訓練を実施し、連携能

力の向上を図った。

## 第1特殊武器防護隊

第1特殊武器防護隊は2月5日から6日までの間、静岡県御前崎市で実施された平成30年度静岡県原子力防災訓練に、同災害対応能力の向上、避難退避検査場における除染要領の確立及び自治体との

設置された避難退域検査場において、自治体、中日本高速道路株式会社、各機関等と連携した除染要領を演習した。

参加隊員たちは東日本大震災を教訓として、実派遣しながらに集中して取り組み、実りある訓練となつた。



民間車両を除染する1特防の隊員

訓練は浜岡原発事故を想定した内容で行われ、1特

防は新東名高速道路（下り線）浜松サ1

ビスエリアに

連携強化を図る目的で参加した。

1普連は2月17日、日本武道館に

おいて第18回全日本短剣道大会に参

加した。その中で団体戦女子の部

が第3位の成績を収めた。また、個

人戦女子の部において本部管理中

隊 青柳2曹が優勝し大会2連覇

（通算5度目の優勝）を成し遂げた。

1普連は3月9日から10日の間、

自衛隊体育学校で行われた第25回全

自衛隊レスリング大会に参加した。

初日は団体戦（5人制）が行われ、

翌日の個人戦では、65kg級で参加し

た伊藤1士、74kg級で参加した深迫

士長、グレコローマンスタイルの86

kg級で参加した向井1士が揃って優

勝するという快挙を成し遂げた。ま

た本大会の最優秀選手賞に伊藤1士

が選ばれ、連隊一同は歓喜に沸いた。



12月22日夕方頃、国道254号線上り車線の練馬駐屯地正門交差点付近において発生した、軽自動車と自動二輪の衝突事故に際し、負傷して路上に倒れた自動二輪のドライバーに対してバイタルチェックを行いつつ、速やかに119番通報し、救急隊員到着までの間、負傷者に付き添い、看護を継続する等、人命救助活動に努めた。この功績により練馬駐屯地司令（佐藤陸将補）から2月1日、善行褒賞を授与された。



塩谷3曹(左)と大橋士長(右)

## 栄光隊員紹介



練馬文化センターにおいて演奏する第1音楽

# 大人気となつた定期演奏会

## 練馬文化センターにて

月9日、第1音楽隊は3セゾンターニーにおいて練馬文化センターにて定期演奏会を行つた。親隊は成績を自衛隊の感想として、車両行進曲前部圖と題して、2曲を演奏した。

「陽光を背に」「かがえのない大地」  
2019年度全日本合奏コンクール課題曲「あんたがル」による幻想曲、主題曲「春」「世界初行進曲」となる「草原の詩」を吹けがえのない大地」  
トマーチ「ティック・オフ」1音の歌姫「花は咲く」「NAISSEA(復興)」「三つ子のジャバボニーズム」を演奏した。

奏、後半はコンサートマーチ「ティック・オフ」1音の歌姫「花は咲く」「NAISSEA(復興)」「三つ子のジャバボニーズム」を演奏した。

客席の聴衆者から、「東京オリンピックマーチは盛況を吹奏し会場は盛りあがり、アルが贈りました」「東京オリンピックマーチは盛りあがり、アルが贈りました」「東京オリンピックマーチは盛りあがり、アルが贈りました」など、多くの声が聞かれました。

### 第1音楽隊長 第1特殊武器防護隊長 第1飛行隊長 第1施設大隊長



1等陸尉 星野 英裕

千葉県出身



2等陸佐 柳澤 昌

山梨県出身



2等陸佐 竹村 亮

神奈川県出身



2等陸佐 渡邊 信洋

愛知県出身

## 転入部隊長紹介

大きな拍手が贈られた。迫力ある演奏で感動しました。「自衛隊の皆さん思いが伝わってきました」など、多くの声が聞かれました。

衆者からは「迫力ある演奏で感動しました」「自衛隊の皆さん思いが伝わってきました」など、多くの声が聞かれました。



# 第1後方支援連隊

第1後方支援連隊は、平成30年度連隊



## CSMコーナー



第1後方支援連隊では女性隊員の活躍が目覚しく、火器・車両整備や通信・需品器材の整備現場に整備服を着た女性隊員も珍しくない光景です。また、災害派遣時の入浴支援や衛生支援に女性でなければ出来ない任務が多くあり、貴重な戦力として期待されています。女性の割合は11%と師団の他の部隊に比べ大変多く、もはや女性なしには機能していかない部隊といつても過言ではありません。私は女性隊員の活躍を更に進めるべく教育や指導に力を入れていかなければならぬと強く思っております。

平成31年度から、東部方面隊が積極的に取り組んでいる女性活躍推進策において、第1後方支援連隊がモーデル部隊として指定される事から、方面最先任上級曹長斉木准尉からも、貴重な指導やアドバイスを頂きながら女性が更に活躍できる先駆けとなる部隊を目指したいと思います。

# 1-2-3月 退官者紹介

## 【第1普通科連隊】



## 【第34普通科連隊】



## 【第1特科隊】



## 「自衛官の妻になって」



## 第34普通科連隊 第4中隊

## 「将来の夢は自衛官」

### 第1飛行隊 通信班

#### 1等陸士 滝田 昂輝 母 滝田 貴子

#### 見学随時募集! OPEN 曜日(土曜) 08:30~17:15



板妻駐屯地記念行事にて  
イタツマンと家族写真

娘と自衛隊イベントにて

これからも笑顔を忘れず、大事な家族の時間を重ねたいです。



滝田1士と祖父喜平さんと  
記念写真

結婚して3年目を迎えましたが、本当にあつという間に感じています。主人と出会いまで身近な環境に自衛隊がなかったので、最初は迷彩服を見るのも洗濯するのも不思議な感覚だったのが今では懐かしいです。娘も生まれて新しい土地での子育ても始まりましたが、近所の方に野菜を貰ったり、優しく声をかけて頂いたり、地元を離れて子育てしている人も多く、娘を通じてたくさん友達もできました。

泊まりの訓練も多く留守の時もよくあります。家にいる時は娘とたくさん遊んでくれる良いパパです。また、駐屯地の行事で会う自衛官の方たちの娘にかけてくださいる笑顔が皆さんとも優しくて、娘を通してたくさん友達もできました。

これまで娘と一緒に過ごす時間がとても楽しかったです。これからも娘と一緒に過ごす時間が楽しくなると思います。必ず解決のヒントはあると思いますのでそんな時は仲間と一緒にヒントを探してみてください。「将来の夢は自衛官」まだ始まつたばかりですが、その時の気持ちを忘れず後ろ向かずに前進して行ってほしいと思います。

